

2019 年度事業報告書

特定非営利活動法人暖家

1. 法人の活動報告

① 特定非営利活動法人暖家は、2019 年度以下の事業を実施しました。

第 2 種社会福祉事業

さくら草	生活介護事業（定員 10 名） 就労継続支援 B 型事業（定員 10 名） 日中一時支援事業
かすみ草	生活介護事業（定員 20 名） 特定相談支援事業 障がい児相談支援事業

② 第 11 回総会の開催（2019 年 6 月 21 日）

- ・ 2018 年度事業報告案について
- ・ 2018 年度決算報告案について
- ・ 監事監査報告
- ・ 2019 年度事業計画案について
- ・ 2019 年度予算案について
- ・ グループホーム建設計画について

③ 2019 年度取り組んだ事業

2019 年度も法人の理念である「寄り添い、共に考える」を念頭に利用者個々の希望や課題に対応した支援に努めてきました。

年度途中から福祉・介護職員等特定処遇改善加算が新設されたのを受け、加算 I を取得することができたので、職員の処遇の改善も少しは図ることができました。

これまで、野菜スープを冷凍保存して店頭販売、多気町ふるさと納税の返礼品として製造販売を行ってきました。レトルト加工して販売すれば販路拡大につながると考え、社会福祉法人丸紅基金様より 200 万円の助成金をいただくことができたので、レトルト加工ができる機材を購入しました。現在試作品を製造中で、2020 年度内には商品化して販売する予定にしています。

職員の資質向上に関しては、引き続き職員の希望に沿う形で施設内外での研修に参加できる機会を設けてきました。外部研修は職員個々の経験、関心、力量等を勘案して多岐にわたるテーマの研修に参加してきました。また、昨年度も 2 名の職員をインドへ派遣し、現地の障がい者施設、特別支援学校に滞在し、異文化の福祉を体験してきました。

令和 2 年を迎え、新型コロナウイルスの発生により、感染拡大防止の観点から

施設内の消毒、手洗い、手指消毒の徹底、検温の実施。施設行事（外出等）も控えざるを得なくなり、ご家族の方も含め各方面に協力していただきながら感染防止に努めています。

④ 職員の退職・採用（2019年4月～2020年3月）

退職職員	支援員 2名
採用職員	支援員 3名

⑤ 目標に対する総括

2019年度は、年度当初5つの目標を掲げましたので、それを総括します。

(1) さくら草、かすみ草両事業所とも利用者の皆さまに安心して快適な居場所となるよう環境整備、プログラムの充実に努めます。

(総括) さくら草とかすみ草では利用者の状況が異なるため、それぞれの特徴に応じた取り組みや支援の提供を行ってきました。少しでも安定して過ごせる空間となるよう、また充実した生活を送れるよう創意工夫しながらプログラム作成や環境整備を引き続き行っていきます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で外出の自粛、請負仕事の減少などを余儀なくされています。

(2) 「人材の育成」は法人運営の根幹です。職員個々が問題意識と課題をもって外部研修参加や内部研修に取り組めるよう日々の業務の充実に努めていきます。

(総括) 人材の育成に関しては別紙記載のように外部研修の積極的な参加と定期的な内部研修を行ってきました。外部研修で得た知識を現場でどれだけ共有し、より有効に活かしていけるかが課題と考えています。

(3) 政府が進める働き方改革に合わせ職員が働きやすい環境、条件の整備を図っていきます。

(総括) 有給休暇が取りやすい環境、職員が外部研修に参加しやすい環境を作るために、職員数に多少余裕があるよう採用を行ってきました。また、有給休暇については、連続休暇の取得を推奨しています。

(4) 要望の多い「住まいの場」としてのグループホーム開設に向けて、公益財団法人JKAへ補助金申請を行います。

(総括) グループホーム建築には多大な資金を必要とするため、補助金申請を公益財団法人JKAに対し行いました。2020年4月に補助金採択の決定通知が届きましたので、2020年度に施設整備を行っていきます。

(5) 事業の効率化と経費節減に努め、事業拡大に不可欠な経営の安定化と資金作り

に取り組みます。

(総括) 利用者の積極的な受け入れ、日常的な経費節約を職員の努力で行ってきた結果、2019年度はその前年度より経営状況は良い結果となりました。2020年度はいよいよグループホーム建設に取り組む年でもあるので、より一層の努力をしていきます。

2. 生活介護事業

さくら草、かすみ草の二か所で生活介護事業を実施しました。両施設とも、なかなかサービスの継続利用が難しい方や、受け入れが困難と言われている方たちの利用を積極的に受け入れてきました。

1) さくら草

2019年度は、週1回の利用からはじめ、年度途中から週2回の利用になった1名の利用者が増え、実績は6.2名となりました。新しい利用者ともわりの利用者のどちらともが、安心して通所できるように環境を整えてきました。

2019年度は、以下の4点の重点目標を掲げ取り組んできました。

① 日常生活の向上

声をかけなくても行動されている部分に着目し、手洗いや洗濯物干し、洗濯たたみ、机ふきなど、体験してもらいながら工夫を重ねてきました。自分でできると感じることで自信にも繋がっていき、良い表情が増えたと感じています。

② 基本的な身だしなみへの配慮

整容や服装など、基本的な身だしなみへの配慮を通じて、日々の利用者の様子、いつもと違う表情などにも気が付いていけるよう取り組んできました。利用者の少しの変化にも気づいて関わりを深めることで、信頼関係にも繋がっていると思います。

③ 本人らしさを考えていく。

作業活動では、「やりたくなる」ような工夫を考えて一人一人の得意なこと・好きなことを活動に活かせるよう取り組みました。余暇の部分においては、まだまだ工夫が必要だと感じています。

④ 丁寧に聴く

単に話を聴くといったことではなく、表情やしぐさ・行動からも感じ取り、その日の調子を考えていけることを意識してきました。そして、感じたことを職員間で共有することで、より丁寧な関わりに繋がっていったのではないかと思います。

(1) 利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所日	計
166	168	157	172	140	154	163	154	156	156	138	159	304	1,883

※人数は延べ人数

1日平均利用人数 6.2名(前年度5.6名)

(2) 障害支援区分

区分	人数
3	1
4	2
5	4
6	2

平均区分 4.8(利用実績から)

(3) 利用者の年齢

年齢	男性	女性	計
15～19歳	1		1
20～29歳	4	1	5
40～49歳		1	1
60～69歳		1	1
70～79歳	1		1
計	6	3	9

支払い工賃について

- ・工賃総額 308,195円
- ・月一人当たり平均工賃(9名) 2,853円

授産収支

収入		支出	・備品購入費	0円
・委託作業収入	<u>342,786円</u>		・光熱費	15,000円
	計 342,786円		・燃料費	10,000円
			・利用者工賃	<u>308,195円</u>
			計	333,195円
			収支差額	9,591円

2) かすみ草

2019年度は前年度より2名の利用者が増えました。実績は13.3名から15.2名で平日の利用者数は約17名となりました。2020年4月には4名の新規利用者の受け入れが予定されているので、今後、定員数を増やしていくのかの検討と、今までの雰囲気壊さずにどのように支援体制を構築していくか考えていく必要があります。また、2020年になった頃から、コロナウイルスの影響が出始め、今まで受注していた内職作業が無くなることもあり、内職以外の日中活動をどのように提供していくか考えていく必要があります。

2019年度は以下の3点の重点目標を掲げ取り組んできました。

① 支援の統一を図る。

必要な利用者については指示書を作成し、支援の手順やその必要性について記述し、職員間でのズレがないように努めてきました。具体的な対応方法を明確にすることにより、職員の迷いも少なくなり、自分たちが行った支援の評価もしやすくなりました。

② GHでの生活をイメージして、支援を考える。

「一人で過ごす時間」が少しでも持てるよう、支援に取り組んできました。具体的には余暇をどのように過ごすかということです。GHでは、職員がつきっきりになることは難しいため、それぞれにあった時間の使い方を検討してきましたが、まだまだ不十分です。

③ 個々のスケジュールを考える。

利用者数も増え、全員が同じ時間に動く（食べる、休憩する、でかける）ことは、事件事故を誘発するため、また、それぞれの作業に集中できる時間や、必要な休憩の時間、見通しの立て方は異なるため、ひとり一人にあったスケジュールを考え、それに沿って過ごしてもらうことで、より過ごしやすい環境を提供してきました。

(1) 利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所日	計
396	415	379	421	351	379	411	381	376	373	364	373	304	4,619

※人数は延べ人数

1日平均の利用 15.2 (前年度 13.3)

(2) 障害支援区分

区分	人数
4	3
5	6
6	12

平均区分 5.3 (利用実績から)

(3) 利用者の年齢

年齢	男性	女性	計
15～19 歳	1	1	2
20～29 歳	9	2	11
30～39 歳	4	2	6
40～49 歳	1	0	1
50～59 歳	0	1	1
計	15	6	21

(4) 活動

i) 内職作業

ダイコー商会	ゴミ袋の梱包 単価 1 円 受注量 7,000～9,000 枚/月
	2019 年度収入 かすみ草 47,813 円
開所当初から受注してきましたが、年始にダイコー商会が倒産し、中止となる。	
丸一化成	自動車部品バリ取り 単価 0.5～1 円 受注量 10,000～15,000 個/月
	2019 年度収入 さくら草 117,099 円 かすみ草 91,371 円
① バリ取り②数をかぞえる③箱詰めの工程に分けて取り組んでもらっています。道具を必要とせず、手でできるのでほとんどの利用者が参加することができています。	

堀口ゴム	自動車部品バリ取り 単価 0.5～1 円 受注量 30,000～40,000 個/月
	2019 年度収入 さくら草 196,077 円 かすみ草 226,146 円
仕上げは職員が行う必要あるが、工程の細分化と材質の変更により、それぞれの負担は軽減された。	
平生工作所	説明書の封入
	2019 年度収入 かすみ草 2,400 円
2 種類の説明書をビニール袋に封入。行程も少なく、単価も良いが、入れる向きや位置が決まっているので、4～5 名が取り組める。	

平生工作所	ドア部品の梱包 単価 2.5 円 受注量 6,000 個/月
	2019 年度収入 さくら草 29,610 円
<p>年度途中から開始。1 年を通してもらえる作業。納品・引き取りは業者が行うため、余分な経費はかからない。他の福祉事業所にも卸しており、取り組みやすいようなツールも貸してもらえるため、並べる・入れるがしやすい。</p>	

支払工賃について

かすみ草

・工賃総額	318,500 円
・月一人当たり平均工賃 (17 名)	1,561 円

授産収支

収入		支出	
・廃品回収	39,300 円	・利用者工賃	212,500 円
・委託作業収入	<u>446,267 円</u>	・賞与	<u>106,000 円</u>
計	485,567 円	計	318,500 円
		収支差額 167,067 円	

ii) その他の活動

さくら草、かすみ草共に、それぞれの利用者の趣味や嗜好を楽しむ活動、支援者が考えて利用者の QOL (生活の質) を高めるための社会経験を積む機会を提供してきました。その過程の中で、利用者自身の選択の力を伸ばす事や、支援者との信頼関係の構築を目指しました。

芸術

絵 画	テーマを決めつつも、自由な画風、書体で描いてもらい、それぞれの個性を発揮してもらいました。
書 道	テーマを決めつつも、自由な画風、書体で描いてもらい、それぞれの個性を発揮してもらいました。

運動

プ ー ル (夏季)	近隣のプールにて 1 時間程度、プールを楽しみ運動不足の解消を実施しました。
散 歩	施設周辺や中部台公園などで 30 分から 1 時間散歩し、季節の移り変わりを楽しみ、運動不足の解消をしました。
軽 運 動	サッカーや野球、アスレチックで体を動かし、運動不足の解消やストレス発散をしました。

体操	地域の体操クラブに参加し、地域イベントへの参加と運動不足の解消をしました。
----	---------------------------------------

生活

調理	不定期でおやつ作りを実施し、それぞれができる工程を担当してもらい、調理や出来上がったおやつを食べて楽しみました。
外食	それぞれの嗜好を聞き取り、外食して楽しみました。
入浴	銭湯での気分転換や、入浴支援を実施して楽しみました。

地域交流

資源回収	かすみ草周辺の民間企業の協力を依頼し、毎月2回程度廃品回収を実施。利用者と共に回収を行い、地域の方たちとの交流が深まるよう取り組んできました。
------	---

3. 就労継続支援B型事業

1) 利用者数

利用者数は、年度後半に老人デイサービスに移られた方がみえたため、少し減少しています。

利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所日	計
124	130	122	126	109	89	104	98	102	79	92	103	304	1,278

※人数は延べ人数

1日平均4.3名の利用（2018年度 4.4名）

利用者の年齢

年齢	男性	女性	計
20～29歳	1	1	2
30～39歳	1		1
40～49歳			
50～59歳	1	1	2
60～69歳	1	1	2
70～79歳			
計	4	3	7

2) 工賃向上計画 5 年目の取り組み

老人保健施設での清掃作業

清掃作業を受託して 4 年が経過しました。利用者の高齢化と新規利用者が増えなかったこともあり、週 3 回、2 時間の業務も難しく、負担となっている様子がみられました。

掃除業務に参加している利用者の意見を聞き、老人保健施設とも協議し、週 2 回、2 時間の業務として継続していくこととなりました。週 2 回になったことで、収入・工賃ともに減少しましたが、継続して働くための不安は軽減されたと思います。

自主製品

自主製品については、販売先を新たに 1 店舗増やし、現在 3 店舗での委託販売と、ふるさと納税全国版のさとふるに登録、引き続き多気町のふるさと納税の品目としても取り扱ってもらっています。委託販売での売り上げは伸びませんでした。ふるさと納税については昨年度と同様に冬季に大量の注文があり、携わっている利用者からは、忙しくなるありがたいと喜びの声がきかれていました。レトルトスープの機械が導入されたため、商品化に向けての試作にも取り組んでいます。

授産作業

授産作業は清掃の収入が減る分を補うことと、活動面では作業量も必要になり、平生工作所の仕事を新たにいただきました。どれも安定して受注できたことで、収入も安定していました。

3) 平均工賃について

今年度の月平均工賃は 10,510 円で昨年度に比べ約 700 円下がっています。清掃作業の日数が減少したことが大きな要因です。

支払工賃について

- ・ 工賃総額 840,860 円 (2018 年度 911,035 円)
- ・ 月一人当たり平均工賃 10,510 円 (2018 年度 11,247 円)
- ・ 平均時給
106 円 <50 円～500 円> (2018 年度 50 円～500 円)

作業内容

スープ製造	2019 年度収入 444,873 円
イベント参加は 1 回程度だが、ふるさと納税の売り上げが昨年度より向上した。 店舗の委託販売の売り上げは前年度と変わらない。	

清掃作業	居室・トイレ掃除 時給 500 円
------	-------------------

	2019年度収入 309,250円
10時から12時の間の清掃作業。参加利用者の高齢化が大きな課題。技術的な面では問題なく、委託先からの評価は変わらず高く、稼働日数、時間共に増やして欲しいと要望はあるが、体力的に難しい状態であるため、週2回に減っている。	
丸一化成	バリ取り 単価 1箱800円 受注量 30~40箱/月
	2019年度収入 273,230円
はさみを使用し、ゴム製品のバリ取りをしている。仕上がった物を段ボールに箱詰めし、それぞれが得意な工程に取り組んでもらっている。	

堀口ゴム	自動車部品バリ取り 単価0.5~1円 受注量 30,000~40,000個/月
	2019年度収入 130,718円
簡単な工程であるため、ほとんどの利用者が参加することが出来る。生産量が若干減少していることで、収入も昨年度より、多少減少した。	

平生工作所	ドア部品の梱包 単価2.5円 受注量 6,000個/月
	2019年度収入 96,787円
袋に説明書・部品3個を入れ、シーラーでとめる作業。取り組みやすい道具もあり、部品を入れる工程は難しくない。シーラーで袋の封をする工程が難しいが、慣れてきているためスムーズに取り組んでいる。	

授産収支

収入		支出	
・清掃作業収入	309,250円	・原材料費	136,210円
・イベント収入	12,500円	・燃料費	40,000円
・スープ作業収入	444,873円	・光熱費	35,000円
・委託作業収入	522,388円	・利用者工賃	842,910円
計	1,289,011円	・備品購入費	153,308円
		計	1,207,428円
		収支差額	81,583円

4. 日中一時支援事業

土祝日と長期休暇中に主に学齢児を受け入れました。高等部の方については、将来を見越して成人利用者と一緒に行動してもらいました。また、家庭の養育負担の軽減を目的に、事業を実施してきました。

生活介護の支給量が足りない利用者についても、日中一時支援で支援をしています。

・利用者数

年間延べ人数 113名（2018年度は121名）

5. 法人全体の主な行事

季節に応じた行事を施設ごとに実施してきました。日帰り旅行については、過去の反省から少人数（4～6人程度）で、アンケートの希望をもとに実施してきました。

年間実施行事

6月	宿泊旅行
10月	日帰り旅行
11月	日帰り旅行
12月	クリスマス会

2019年度 五施設交流会

月	日	曜日	活動内容	場所
4	24	水	音楽療法	多気町産業文化センター
5	29	水	ボーリング	サンパーク
10	16	水	運動会	多気町トレーニングセンター
11	13	水	プラネタリウム	中部台公園
12	18	水	クリスマス会	多気町文化会館
1	15	水	反省会	聖愛園

6. 事故報告

さくら草

内 容			
転倒	2件	所在不明	1件

かすみ草

内 容			
転倒	1 件	火災	1 件 (ライター)

7. 各種会議

・ケース会議

それぞれの利用者を年2回ずつ、会議の中で日々の支援の評価や、個別支援計画の作成のための話し合いを実施しました。

・職員会議

不定期で合同の会議を実施。必要があればケース会議と合わせて実施しました。施設の課題や日課・作業・行事についての話し合いを実施し、情報の共有と改善策の検討をしました。

8. 職員研修

利用者支援を充実させること、職員のスキルアップとモチベーションの維持・向上のため、外部の研修に積極的に参加してきました。施設内の研修は4回実施しました。

三重県強度行動障害支援者養成研修（基礎、実践）
「自閉症スペクトラムとこだわり行動への対処法」
「知的障害を伴った自閉症スペクトラム障害の理解と対応」
社会福祉施設における災害への備え～いま、災害が起きたら～
思いを届ける！ロジカル・シンキング
工賃向上セミナー
虐待研修
海外研修（インド研修）

9. 相談支援事業所 かすみ草

2019年度は、件数を削減する必要があつて、前年度より12件減ることとなりました。円滑に新規の相談支援事業所に移行してもらうために、十分な情報提供や説明を行ってきました。

(1) 契約利用者の状況 (2019年度末時点)

(単位 人)

	契約利用者
特定相談	29
障害児相談	9
合計	38

- ・サービス等利用計画作成数 43件
- ・継続サービス等利用計画作成数 98件

(2) 相談員の研修状況

相談員能力向上として下記の施設外研修に参加しました。施設外研修では、県主催の研修や伊勢市主催の研修、また、それ以外の勉強会にも参加し、専門性や相談員としての姿勢について学びました。

- ・発達障害とは？
- ・三重県強度行動障害支援者養成研修
- ・サービス事業所での権利擁護について語り合おう
- ・知的障害を伴った自閉症スペクトラム障害の理解と対応

※毎月 伊勢市ネットワーク会議に参加 (3月は中止)

(3) 苦情・事故報告

相談支援事業かすみ草 0件